

わたしが出会ったおばあちゃん

香川県 笠田小学校 4年 合田 杏奈

わたしのお母さんは、「ほう問^{ふくし}福祉^{ふくし}理美容」という仕事をしています。「ほう問^{ふくし}福祉^{ふくし}理美容」とは、しせつや病院に行って、かみをカットしたり、顔をそったり、シャンプーをしたりする仕事です。

わたしは、ときどきお母さんの仕事を手伝いに行くことがあります。そこでは、カットしたかみをはいたり、かたづけをしたりしています。

わたしは、日曜日のお休みのときにお母さんといっしょに行ったとき、とてもすばらしいできごとに出会いました。

それは、しせつの中でも、おじいちゃんやおばあちゃんが助け合って生活していることです。元気なおじいちゃんが、歩くのが不自由なおばあちゃんの手を引いていたり、手の不自由なおばあちゃんの手助けをしたりしていました。

わたしはそれを見て、人を助けることは当たり前だけど、生活の中で自然に行えることがすごいなあと思いました。

あるとき、とってもすてきなおばあちゃんに出会いました。そのおばあちゃんは、足が不自由で、車いすに乗っていました。その近くには、その日に新しくしせつに入ってきたおじいさんがいました。

おじいさんは、手が不自由でした。おじいさんがごはんを食べようとしたとき、お茶が入ったコップをゆかに落としてしまいました。そのときに、横にいたおばあちゃんはそのコップを拾おうとしました。でも、おばあちゃんはバランスをくずして車いすから転げ落ちてしまいました。

わたしは、それを見てびっくりしました。急いでおばあちゃんを助けにいこうとしましたが、スタッフの人がすばやく、おばあちゃんを車いすにすわらせてくれたのです。そこでおばあちゃんは、いたい顔もしないで、

「ごめんね。わたしがよけいなことをしたから、みんなにめいわくをかけたね。」

と言いました。おばあちゃんは体が不自由で助けてもらうばかりと思っていたのに、手の不自由なおじいさんの手助けをしてあげようとしていることに、心を動かされました。わたしは、とってもおだやかで豊かな気持ちになりました。おばあちゃんは、いつもにこにこしていて、こまっている人を助けたり、元気のない人にはやさしく声をかけたりしています。あたりまえのことを自然にできて、けがをしてまでも人に対してやさしくできるおばあちゃんの笑顔が、わたしは大好きです。

わたしには、にんちしょうのおばあちゃんがあります。しゃべることもできなくて、わたしのこともわかりませんが、少しでもおばあちゃんが気持ちよく生活できるように、手助けをしたいと思います。出会ったおばあちゃんとのできごとは、わたしの夏休みのとってもとってもいい思い出になりました。